

2018 AUTUMN  
Vol.37

# ISSUE

[繋ぐ]

愛でる Special Issue:

## 英雄の“覚悟”を描く 「武人画」

先どる おしゃれな“紙もの”を贈ろう  
「PAPER GIFT SELECTION」

包む ものづくりの姿勢を表現した  
「岩塚製菓」の米菓パッケージ

# 英雄の「覚悟」を描く 「武人画」

歴史や軍記物などに登場する武将の姿を力強く描いた圧巻の墨絵。大胆さと繊細さを兼ね備えた筆使いとダイナミックな構図によって、覚悟を決めた豪傑たちの勇ましさを表現した作品は、観るものの心を揺さぶる気迫に満ちたオーラを放っています。これらの作品を生み出すのは、武人画師・こうじょう雅之さん。多方面からコラボレーションの依頼が絶えない彼の作品には、型にはまらない信念を貫き通す、強い「覚悟」が宿っています。

愛でる ..... P01

英雄の“覚悟”を描く  
「武人画」

先どる ..... P06

おしゃれな“紙もの”を贈ろう  
「PAPER GIFT SELECTION」

包む ..... P09

ものづくりの姿勢を表現した  
「岩塚製菓」の米菓パッケージ

伝える ..... P11

小津作品の名優から届いた  
飾り気のない1通の年賀状

深める ..... P13

KPPの最新ニュースを  
キャッチアップ

訪ねる ..... P15

紙の魅力を体感できる  
「ペーパーイベント・カレンダー」

作る ..... 付録

秋・冬に大活躍!  
「プチギフト・ボックス」

武人画師 — こうじょう 雅之さん



MASAYUKI KOJO  
"BUJINGA" ARTIST

1978年生まれ、京都府宇治市出身。2014年より、「覚悟」を持つ武人の姿を墨で描く「武人画師」として活動を開始。水墨画とは異なる独自の技法、躍動感ほとばしる独特のタッチが話題を呼び、国宝二条城「二の丸御殿前」史上初のライブパフォーマンス、NHK大河ドラマ「真田丸」カレンダーのデザイン、映画「スター・ウォーズ」のオフィシャル武人画など、数々のコラボレーション作品を発表。2018年より、宇治市観光大使も務める。

■公式ホームページ: [www.macfamily57.com](http://www.macfamily57.com)  
■作品販売サイト: [www.collab-japan.jp](http://www.collab-japan.jp) (コラボジャパン)

野球や社会で経験したことすべてが  
今の活動につながっている

フレームマットにはみ出すほどの荒々しさと生命力ほとばしる躍動感。戦国時代の武将など、歴史や軍記物の英雄たちの気迫に満ちた姿を描く「武人画」には、何事にもひるむことのない芯の通った信念をも表現しているようです。「僕が描くのは、武人たちの『覚悟』なんです」。こうじょう雅之さんは、故郷である京都府宇治市を拠点に創作を続けている武人画師。史実に基づいた活躍を絵画にした武者絵ではなく、モチーフとなる人物の意を決した姿を、墨だけで描いていきます。その迫力ある作風は国内外から高い評価を受け、多方面からのオファーが殺到。大河ドラマ「真田丸」のカレンダーデザインに採用されたのを機に、国宝・二条城「二の丸御殿前」では史上初となるライブパフォーマンスを敢行、さらには世界遺産・平等院を舞台に、映画「スター・ウォーズ」最後のジェダイ「公開記念イベントとして巨大な屏風に同作のキャラクターの武人画を披露するなど、作家の型にはまらない活動が注目されています。

こうじょうさんが武人画師として本格的に活動を始めたのは、約4年前のこと。もともと絵を描くのが好きだったものの、高校野球の強豪・近江高校（滋賀）に進学。レギュラーの夢は叶わなかったものの自ら裏方を志願し、チームを支え続けたそうです。その後、就職した配送

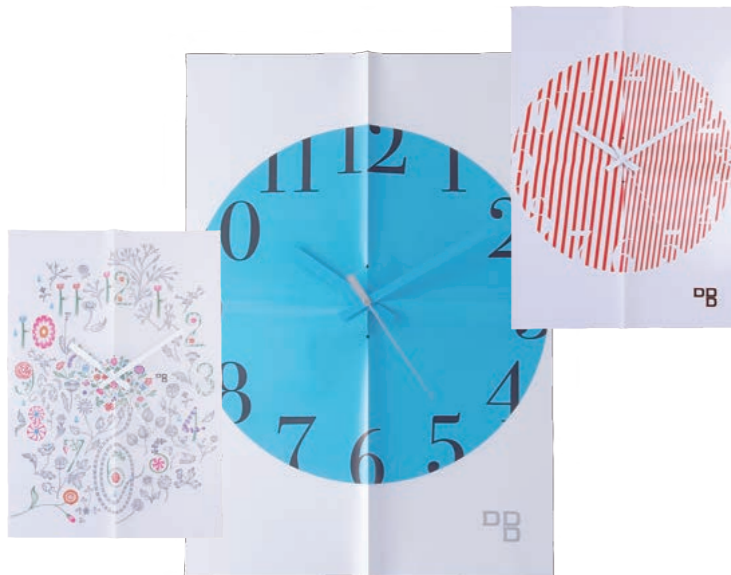
会社でも職場環境の改善に取り組み、企業の業績回復にも貢献しました。「野球部ではチームが勝利するためには何が必要か、会社では同僚や部下の不満を解決するにはどうすれば良いかを第一に考えることを心がけていました。時代の流れを読んで社会が求めているものをリサーチする力、協力してくれる仲間との良好な関係をつくる力は、当時の経験がなければ得られないものだと思いますし、作家として活動するうえでとても役立っています」とこうじょうさん。誰かの役に立ちたいというまっすぐな気持ちと、高校球児、サラリーマンという作家としては異色の経歴すべてが、短期間で成功を収める礎となっているのです。

作家としての仕事に未練を残しつつも、配送会社の役員として順風満帆な日々を送っていたこうじょうさん。そんなある日、偶然目にしたテレビCMが、彼にとって人生の転機となりました。「カップ麺のCMに（漫画家の）井上雄彦先生が描いた宮本武蔵の墨絵が使われていて、それを見たときに、同じものが描きたい、という強い衝動に駆られ、絵描きをめざすことを決めました」。こうじょうさんは翌週、勤務先に辞表を提出。直感を信じる決断力と行動力によって、新たな人生を切り拓く大きな一歩を踏み出しました。



先どる

紙の“先端”にフォーカス  
「EDGE of PAPER」

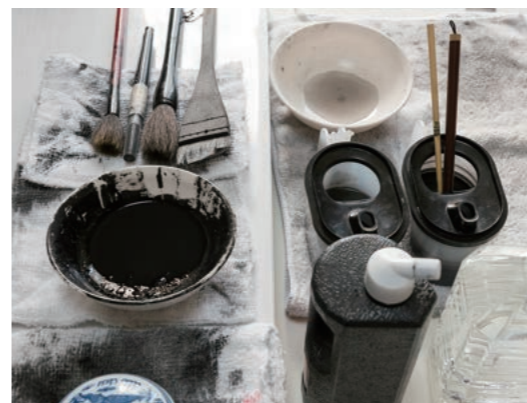


# 2018-2019 AUTUMN-WINTER PAPER GIFT SELECTION

紙の特性を生かした機能性とおしゃれなデザイン性を兼ね備えた“紙もの”アイテムを厳選しました。クリスマスや正月の贈答品として、感性を刺激するスペシャルなギフトを贈ってみませんか？



「京都東山花灯路2018」のイベントの一つとして知恩院山門前で行われた、ライブ・パフォーマンスの様子。打ち鳴らされる和太鼓のリズムとシンクロするように、墨の線が描き入れられていく。



こうじょうさんが武人画に使用する道具。なかには撈っこが書き初めに使用した筆も。



上/オリジナル武人画「宮本武蔵 吉岡一門一乗寺下り松ノ刻」(H800×W1100mm) 右下/オリジナル武人画「真田幸村一騎当千乃図」(H660×W850mm) 左下/オリジナル武人画「漢の背中シリーズ伊達政宗」(H605×W455mm)

活動を開始した当初は「まだアマチュアの実力だった」というこうじょうさんが、広く世に知られるようになる背景に、浮世絵や江戸木版画の工房「朋誠堂」を主宰する坂井英治さんとの出会いがありました。「本物のアートを観てきた方が、鋭い審美眼を持つてしっかりとジャッジしてくれたことで絵のレベルが上がりました」とこうじょうさん。世界水準のアートを知る心強いパートナーを得たことで作品のクオリティがさらに進化。水墨画の技法に漫画の表現方法をミックスした技法を独学で確立したことで、アートシーンからの評価がさらに高まり、大きな飛躍につながったそうです。

## 憧れを抱くことが、 夢を実現するための推進力になる

憧れの存在に歩でも近づくことを目標にして、幼い頃からの夢を叶えた自身のストーリーを、日々のパフォーマンスによって未来の子どもたちへ伝え続けていきます。



「独眼竜 伊達政宗公図」(H660×W850mm)



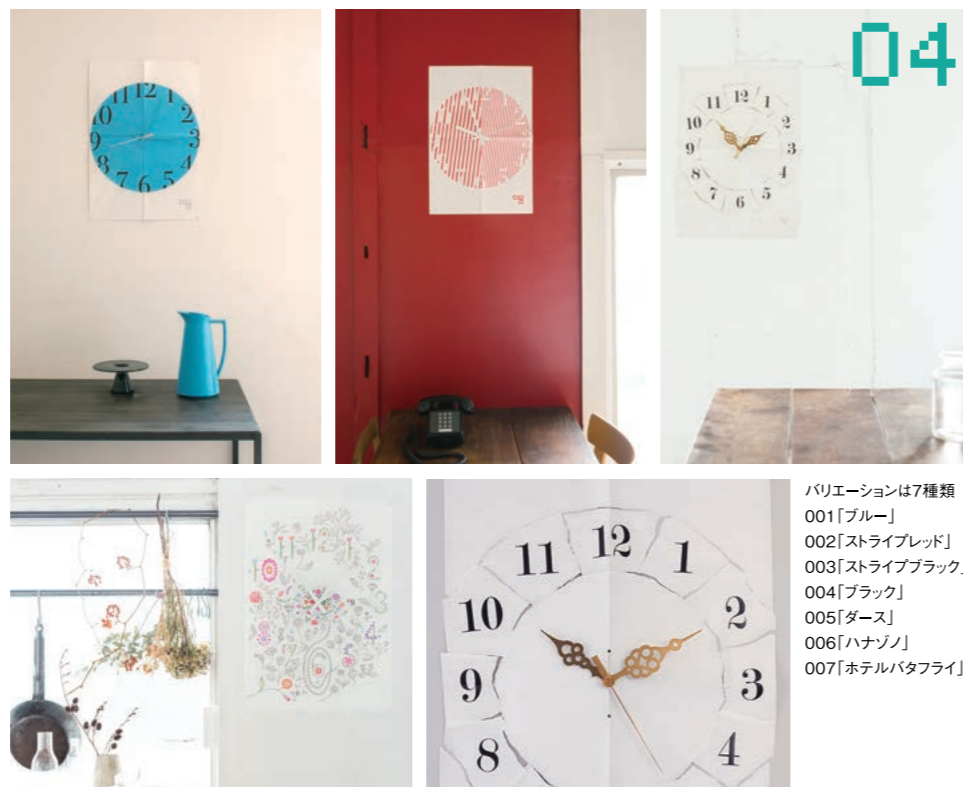
こうじょうさんが描く黒馬がラベルになった妻焼酎「くろうま天駆(あまがけ)」宮崎県・神楽酒造。商品の題字も手がけたほか、CM動画にも出演している。

インテリアのアクセントに最適  
ポスターのように使える紙の時計

### 「TIME PAPER」

発売：D-BROS（株式会社ドラフト）  
http://db-shop.jp

部屋の雰囲気を変えて、新たな気持ちで新年を迎えたい。そんな方におすすめしたいのが、紙の時計「TIME PAPER」です。その魅力は、一般的な壁掛け時計と違って、ポスター感覚で気軽に貼りつけることができること。角度のある場所でも折り目をつければびたっと貼れるなど、自由に変形できる“紙”ならではのアレンジも楽しめます。また壁掛け時計のような重さがないので、天井に貼ることも可能。設置する場所の選択肢がさらに広がります。また、文字盤の紙に描かれるデザインは、クールなストライプ模様やかわいい花柄など全部で7種類。インテリアのアクセントとしてだけでなく、クリスマスギフトや引越祝いにも喜ばれるはず。



04

- バリエーションは7種類  
001「ブルー」  
002「ストライプレッド」  
003「ストライプブラック」  
004「ブラック」  
005「ダース」  
006「ハナヅノ」  
007「ホテルバタフライ」

家族や友人と楽しみたい  
小さな紙製アコーディオン

### 「papernica（ペパニカ）」

発売：neneroro accordion repair service  
www.papernica.com



06

岡田路子さんが考案した手のひらサイズの「ペパニカ」は、紙を折り、一から組み立てて完成させるアコーディオンです。本体ひとつにつき一音。ドレミファソラシドの1オクターブ8音のラインナップになっていて、すべての音階をそろえるとハンドベルのように演奏を楽しむことができます。じゃばらと持ち手の部分には、耐久性に優れた日本製のファインペーパー、音が鳴る部分には真鍮素材のリードが使われていて、自分の手で作ることで音の出るしくみを学べる楽しみも。クリスマスやお正月に家族や友人と演奏してみてください。ペパニカの優しい音色と演奏風景（お手本）は、動画サイトで見ることができます。[www.papernica.com/play]

和紙の透過性を活用した  
自然に寄り添うカレンダー

### 「朝陽で日づけが浮き出るカレンダー」

発売：TAKI PRODUCTS（株式会社たき工房）  
www.taki.co.jp/taki\_products



05

その商品名の通り、自然光にかざすと半透明になっている文字盤を通して、数字や曜日が浮き出て見えるカレンダーです。3枚の文字盤はそれぞれ月、日、曜日表示。朝陽がたっぷり差し込む窓に貼って、自分の手でくると回して使います。その日の天候や自然の光が差し込む角度、光の強弱によって、文字の見え方や風合いを変えるのも魅力のひとつ。和紙を透過したやわらかい光が部屋を照らし、あたたかみのあるインテリアとしての役割も果たしてくれます。また、和紙を樹脂でラミネートした素材は、結露などの水滴にも強い材質なのでご安心を。月日・曜日の確認だけでなく、季節の移り変わりを感じられるカレンダーです。

和紙糸を使用した  
「PORTER」ブランドの人気シリーズ

### 「PORTER DRAFT」

発売：株式会社 吉田  
www.yoshidakaban.com



03

飽きのこない洗練されたデザインと使いやすさから、幅広い年代に愛され続ける老舗バッグメーカー、吉田カバン。見た目だけでなく機能性を備える素材にもこだわる同社が、和紙糸を使用したシリーズとして発表したのが、「PORTER DRAFT」です。バッグの表生地に用いられているのは、王子ファイバー（株）が開発した「OJO+（オージョ）」という天然繊維の和紙糸を用いたオリジナル生地。良質なマニラ麻を原料とする紙からできた糸は、一般的な綿糸よりも強度に優れ弾力性があり、重さも半分以下と軽量。和紙の特性である軽さと手触りの良さにくわえ、和紙糸とナイロン糸を使って平織りにしたオリジナルの生地の光沢が独特の風合いをもたらします。モノにこだわる方も、納得の逸品です。

秋冬の装いを魅力的に彩る  
美濃和紙のアクセサリ&小物

### 「Origami Jewel&まあるシリーズ」

発売：美濃手漉き和紙専門店「カミノシゴト」（家田紙工株式会社）  
www.kaminoshigoto.com

レース細工のように繊細なデザインや、立体感のあるフォルムが印象的なアクセサリ。これらはすべて1300年の歴史を持つ美濃和紙でつくられたもの。伝統的な製法を継承する職人が1枚ずつ漉いた薄い和紙は、紙ならではのあたたかみと凛とした美しさを備えています。「Origami Jewel」は、小さくカットした紙を手で折ってつくったピアス&イヤリングのコレクション。日本ならではの奥ゆかしさを感じさせるデザインは、和の装いにもしっかりと馴染みます。和の伝統柄をデザインした「まあるシリーズ」は、イヤリングやヘアピンなど、日々の暮らしで活躍するおなじみのアイテムが充実。秋冬の装いに、伝統工芸の洗練された印象を加えてみませんか？



01



スライドさせると絵や文字が動き出す  
視覚効果を利用したメッセージカード

### 「DOT ANIMATION CARD」

発売：「かみの工作所」（福永紙工株式会社）  
www.fukunaga-print.co.jp



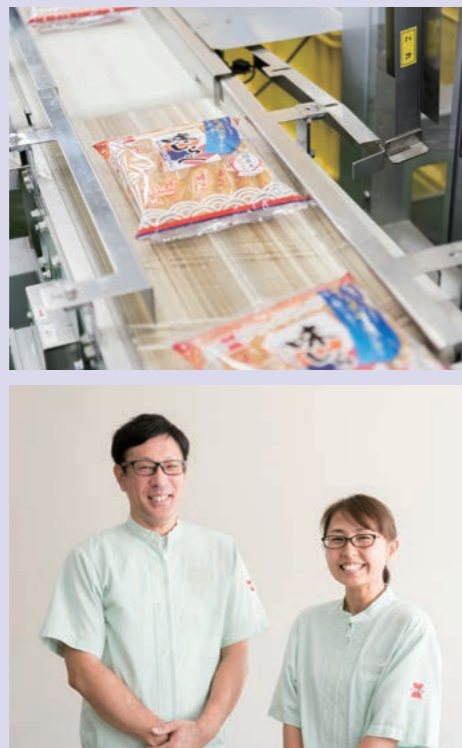
02

ケースからカードを引き出すと、絵や文字が動き出す。そんなユニークなカードで、クリスマスや新年のメッセージを送りませんか？ 表面にレーザーカット加工で穴がけられたケースと中身のカードが連動する仕掛けによって、ハートや花火などの美しいアニメーションが楽しめます。さらに、中に差し込むカードの向きを変えると別のビジュアルが出現。「HAPPY BIRTHDAY」「THANK YOU」などのメッセージ性のある単語が浮き上がります。バリエーションは、これからの季節にぴったりな「SNOW FLAKE & ILLUMINATION」など計5種類。120円切手で郵送できるのも、うれしいポイントです。このカードなら、相手への思いがより深く伝わるはずですよ。

「岩塚製菓」の米菓パッケージが物語る  
ものづくりの姿勢と国産米へのこだわり



「味しらべ」を製造する沢下条工場(新潟県長岡市)の様子。



商品企画部の下田篤志部長と藤塚美奈子さん。

パッケージには、商品を守ることで中身の品質を維持するという重要な役割があります。商品が食品であればなおさら、賞味期限や消費期限を担保することは、メーカーにとっていわば使命です。

新潟県長岡市を拠点に、幅広い世代に向けた米菓を製造・販売する岩塚製菓。そこで商品企画を担当している下田篤志部長に、品質管理について尋ねると、「本場にさまざまな試験を徹底して行っています」とのこと。「たとえば、私たちの商品は24時間営業のコンビニや、スーパーマーケットなどで蛍光灯などの光を長時間受けていますし、運送時のトラックの庫内温度は外気温よりもずっと高くなります。商品がお客さまのお手元に届くまでの環境条件を加味したうえで、想像できることはすべてクリアしておかなければなりません。品質確認の一環として、期限の切れた商品を食べ、状態を確認することだってあります」。商品企画部では、品質保証部との連携によって、食品の安全性や品質を的確に評価するための理化試験などさまざまな虐待試験を実施し、科学的な根拠に基づいた評価を行っているそうです。「またパッケージの包装材料の選定も重要な要素です。湿気を吸収しやすい揚げおかし商品はアルミ蒸着フィルムを使うなど、湿気や酸素の通しにくさ、遮光性や保香性など、包装材の機能を理解しておく必要があります」と下田部長。「シニアの方でも開封しやすいように個装の表面を加工したり、単身者世代の増加を考慮した適量を考えるなど、お客さまに対応した工夫を重ねています」。

また優れた商品でも、その魅力が消費者に伝わらなければ購入には結びつきません。同部の藤塚美奈子さんは、商品の第一印象を決めるパッケージデザインを考えるうえで、「岩塚らしさを表現すること」を大切にしているそうです。「同じ米菓商品でもメーカーごとに特色があります。岩塚製菓は、すべての商品に国産米100%を使用するなど、原材料の品質と鮮度にこだわり、本当の美味しさを追求し続ける実直な企業。それをパッケージデザインに反映することで、お客さまにも伝わらばいいなと思っています」と藤塚さん。岩塚製菓のものづくりの信念と消費者各世代の感性に響くデザインが融合したパッケージが、商品価値を高めているのです。



PRODUCTS

岩塚製菓の社員が選ぶ「私が好きな自社商品」ベスト5



サクサクと軽い食感とちとけの良さが世代を超えて愛され続けるベストセラー商品。40周年を記念したキャンペーンも実施中。40周年記念商品「北海道あずき味」も発売中!



もち米の美味しさと、たまり醤油の香ばしい風味が人気の定番商品。「まるやか醤油味」のほか「塩味」「ざらめ味」も美味。



たっぷりと練りこんだ黒豆の香ばしさと歯ごたえのある食感、旨味を引き立てる塩味がベストマッチ。コクのある「醤油味」も人気。



北海道十勝産の「大袖振大豆」を贅沢に使用したソフトなおかし。日本茶だけでなく、コーヒー、紅茶との相性も抜群。



アカデミアナッツの風味が口の中で広がる、ふわっと軽い食感のおかし。日本茶だけでなく、コーヒー、紅茶との相性も抜群。

**東日本大震災復興支援活動「明日へつなごうプロジェクト」も継続中!**

東日本大震災直後にスタートした岩塚製菓の復興支援活動「明日へつなごうプロジェクト」。その一環として福島県南相馬市の子どもたちが企画開発した商品を毎年期間限定で発売し、売り上げの一部を義援金として寄付する活動を続けています。

南相馬市でおせんべいづくりの実演に使用される「揚げたてちゃん号」

**「明日へつなごうプロジェクト」の軌跡**

岩塚製菓 明日へつなごうプロジェクトチーム 著 は一べすと舎

当時小学生だった子どもたちとの出会いから今日までの交流の軌跡、社員の思いをまとめた1冊。企業の社会貢献のあり方が見えるてくるビジネス本としても人気。

岩塚製菓 岩塚製菓株式会社



**DATA**  
住所：新潟県長岡市浦9750番地(本社)  
支店・営業所：全国11支店、19営業所  
子会社：(株)瑞花、(株)新潟味のれん本舗、(株)越後抄  
里山元気ファーム(株)、(株)田辺菓子舗  
関連会社：旺旺・ジャパン(株)  
TEL：0258-92-4111(代表)  
☎ 0120-94-5252(お客様相談室)  
HP：www.iwatsukaseika.co.jp(コーポレートサイト)  
www.iwatsuka-shop.jp(ECサイト)

**HISTORY**  
戦後間もない1947年、雪深い農村に住む人々が出稼ぎに行かなくても生活できる産業を興そうと、越路町飯塚(現在の長岡市飯塚)に岩塚農産加工工場を創立。水飴、澱粉、カラメル等の製造からスタートした事業は、3年におよぶ生地の下請け時代を経て米菓製造へと転換。やわらかく小さな子どもでも食べられる「お子様せんべい」、独創的な甘じょっぱい味の「味しらべ」が驚異的なヒットを記録し、大手米菓メーカーへと成長を遂げました。その後も原料となる国産米の品質と加工技術の向上、消費者ニーズを掴んだ商品開発に取り組み続け、2017年に創業70周年を迎えました。

**TOP MESSAGE**

私たち岩塚製菓の役割は、日本独自の食文化である「米菓」を世界に広め、お客さまに本当に美味しい、安心・安全な商品をご提供することです。社会構造が大きく変化する難しい時代において、品質よりもコストが重視される傾向がありますが、岩塚製菓は日本の農業の発展が企業の成長につながるの信念のもと、すべての商品に100%国産米を使用しています。また、新潟は日本有数の米の一大産地です。県内の契約農家が育てた米が米菓になるまでのリードタイムを短縮することで、現地で採れた米本来の美味しさと安心・安全をお届けすることを大切にしています。これからも岩塚製菓は国産米100%にこだわり、お客さまの笑顔につながる美味しさへの挑戦を続けてまいります。

代表取締役社長 榎 春夫 さん

「手紙」は語る

植村 鞆音

人間は表現する動物だというのが、手紙は人間の表現のなかでもっとも深く高貴なものだと思う。手紙は手書きがいい。眼光紙背に徹すれば、書き手の人となりが見えてくる。

第十五回 笠智衆

わたしは四十一年の長きにわたりテレビ局に勤務したが、いわゆる芸能人との直接のつき合いはほとんどなかった。強いてつき合いのあった時期を探せば、番組制作に関わった三十歳からのわずかに二、三年のことである。

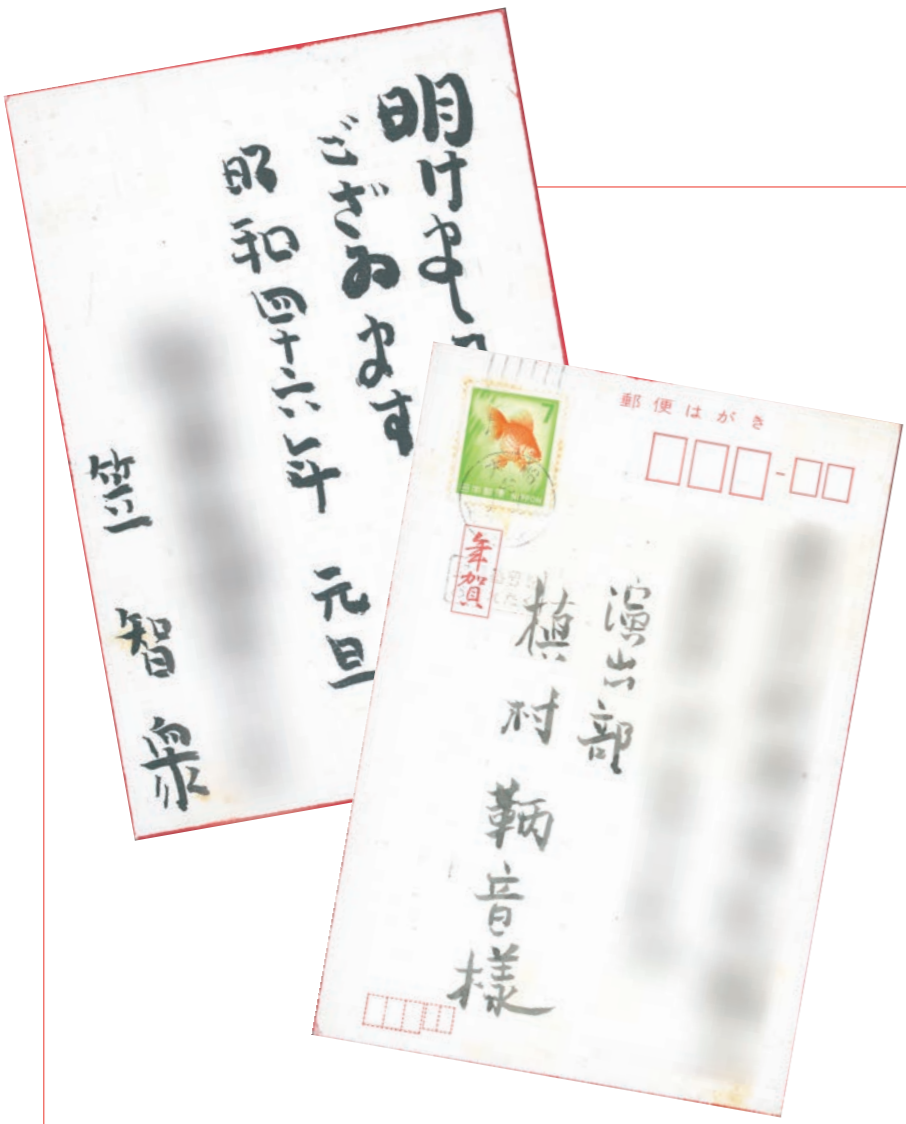
自由気ままで居心地のよかった編成というセクションから、二度経験しておいたほうが身のためだという上司の一方的な理屈で、番組を制作する演出というセクションに異動したのは結婚する直前、昭和四十三年夏のことだった。

意に染まぬ異動をいいことにサポータージユを決めこむわたしに、班長が最初に用意したのは、AD(アシスタントディレクター)ではなく台本執筆の仕事だった。要領のわるいわたしはたしかにADに向いていなかったかもしれない。ものを書く作業に憧れを抱いていたわたしはこの仕事をよるこんで引き受けた。最初に回ってきたのは、マキノ雅弘監督の半生を紹介する番組の構成台本を執筆することだった。見よう見真似の仕事だったが、さほど苦労はなかった。そのうち、わたしはD(ディレクター)の仕事もするようになった。ときどき台本執筆の機会もあった。翌々年回ってきた台本執筆は、いま考えればなかなかの大仕事だった。

松竹が映画製作五十年を迎えるというので、城戸四郎社長を中心にゆかりの「すよ」と声をかけてもらい、近くの「宮川」までいっしょに歩いた。本物の笠さんは、想像していたより背が高く、大股だった。後で知ったのだが、柔道は相当の腕前だったらしい。

笠さんを訪ねたのは、松竹五十年の特番の取材と出演交渉以外に、「一人に歴史あり」という番組への出演交渉の意味もあったのだが、「私はそんなはれがましい番組の主役には相応しくない」という理由で体よく断られた。笠さんの人柄を鑑みわたしは納得した。

戦前戦後を通じ、小津安二郎の監督作品はなんといっても松竹映画の主要な系譜のひとつである。戦前から小津作品の常連だった笠さんには田中絹代、高田稔、飯田蝶子、吉川満子などと一緒に小津作品について語っていた。自分には不器用で幾度も幾度もダメをだされた。今日の私があるのは小津さんのおかげ



俳優、監督をありったけ集めて半世紀を振りかえろうという大型企画の仕事である。これには少々びびった。


残された台本を繰ってみると、出演者の顔ぶれに目を見張る。いまも知らない人もおいだろうが、女優では、栗島すみ子、田中絹代、飯田蝶子など日本映画草創期のスターに始まり、高峰秀子、高峰三枝子、木暮実千代、津島恵子、岸恵子、岡田茉莉子、岩下志麻、倍賞千恵子。男優では、岩田祐吉を始め上原謙、佐分利信、佐野周二、渥美清、監督ではヘンリー小谷、牛原虚彦以下、五所平之助、吉村公三郎、大庭秀雄、木下恵介、山田洋次。総勢百人になろうという豪華版である。

わたしは、この番組の取材をとおして笠智衆さんと知り合った。演出を担当する遠藤慎介先輩と築地の松竹本社を訪ねたのは構成台本を書き上げる一か月ほど前だった。笠さんといえば、「男はつらいよ」の御前様を思い出す人がおいだろうが、本物のお寺の二男坊だったことを知る人はすくないかもしれない。その飾り気のない訥々とした応対は画面の笠さんそのままだった。取材を終えたらお昼に近かった。「きみたち、鰻をこつおしま

げ」笠さんの言葉はいまも記憶に新しい。放映後、いちどスタジオでのスナップショットを届け、折り返し礼状をいただいたような気がするが、いま探してもみつからない。残っているのは翌年の正月に頂戴した年賀状が一枚あるだけである。私が笠さんに年賀状を送り、笠さんがそれに応えてくださったのだろう。毛筆書きのいかにも笠さんらしい律儀な文字である。

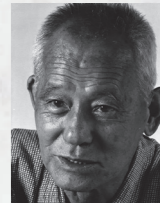
わたしの書架には、笠さんの署名入りの『俳優になろうか』という著書が二冊ある。日経新聞に連載された「私の履歴書」に加筆した単行本だが、「平成元年二月 笠智衆」と書かれているから、番組の放送の二十年後、わたしはこの本を頂戴したのだろう。ただし、この本をくださったのは、笠さんご本人ではなく、ご長男の徹さんからだった。

その頃、わたしは横浜の劇場主の福寿さんという方からときどき伊豆のゴルフ場にお誘いを受けた。パートナーは俳優の池部良、立花証券の独眼竜・石井久、武蔵野興行河野社長などの各氏だったが、そこで徹さんと知り合い署名本を頂戴した。はつきりとした記憶はないが、多分わたしが徹さんに所望したのだろう。笠さんは、署名本にも年賀状にも、「植村」を「植村」と書かれている。笠さんは、この四年後、平成五年八十八歳で亡くなったが、どうしてこんな間違いになったのかちょっと聞いてみたいような気がする。



著者略歴  
うえむら ともね  
植村 鞆音 エッセイスト

小説家・直木三十五の甥、東洋史学者・植村清二の子として愛媛県松山市に生まれる。1962年早稲田大学第一文学部史学科卒業後、東映を経てテレビ東京に勤務。同局常務取締役、(株)テレビ東京制作代表取締役社長等を歴任。2005年「直木三十五伝」で尾崎秀樹記念・大衆文学研究賞受賞、2007年「歴史の教師植村清二」で日本エッセイスト・クラブ賞受賞。主な著書に「夏の岬」「気骨の人 城山三郎」など。



りゅう ち しゅう  
笠智衆  
俳優  
1904-1993

熊本県玉名郡玉水村(現在の玉名市)出身。1925年松竹に入社後、大部屋俳優時代を経て小津安二郎監督に見出され、以降小津作品に欠かせない俳優として活躍した。黒澤明、山田洋次等の名将と呼ばれる監督の作品にも数多く出演、『男はつらいよ』シリーズでは御前様役として知られる。「昭和の父親像」を象徴するパイプライターとして多数の受賞歴を誇る、名優の一人。

▶ タウンecomо(エコモ)の認知度向上を目的とした  
お子さま向けキャンペーンを実施しました。

当社は、モール型ショッピングセンター、イオンモール日の出をはじめとした複数のイオン店舗において、古紙回収リサイクルポイントシステム「タウンecomо(エコモ)」の認知度向上キャンペーンを行いました。

これはイオンに設置している古紙回収リサイクルポイントシステム「タウンecomо(エコモ)」の新規利用者獲得と認知度向上を目的に開催したもので、小学生を対象にした段ボール工作のワークショップ、段ボール迷路などの企画イベントを行いました。また、当社の関係会社である鳴海屋紙商事(株)が取り扱う、段ボール素材でできたブロックおもちゃ「段ブロック(製造:佐貞商店)」の体験コーナーも設置しました。夏休み期間ということもあり、多くの子どもたちが紙製遊具を楽しみました。

会場では、分別の方法や回収された古紙が紙に再生されることを説明したパネル展示も実施。「タウンecomо(エコモ)」の利用促進だけでなく、環境教育にも貢献するものになりました。



▶ むさし野紙業で  
小学生が紙のリサイクルについて学びました。



当社関係会社むさし野紙業(株)横浜営業所では、地域貢献活動の一環として毎年地域の小学生の社会科見学を受け入れています。本年も9月27日に横浜市立新吉田第二小学校の4年

生84名が訪れ、古紙ヤードを見学したのち、同社社員が講師となり、紙のリサイクルについての授業を行いました。

▶ 「TSUNAGU GALLERY」にて  
ロギール・アウテンボーガルト氏の和紙作品を展示

これまで本誌面でご紹介した作家・アーティストの方々の作品や製品などを展示する本社1階エントランスの「TSUNAGU GALLERY」。誌面を飾った実物を間近に見て、その魅力を感じることのできるスペースとして、ご好評いただいています。

現在は、「土佐の匠」にも認定されたオランダ出身の手漉き和紙作家、ロギール・アウテンボーガルト氏の作品を展示中です。実際に通り抜けることのできる和紙でできたトンネルや、さまざまな原料と製法でつくられた同氏の個性溢れるオリジナル和紙作品などが多数ご覧いただけます。この機会にぜひお立ち寄りください。



- 会期:2018年10月1日(月)~11月16日(金) 9:00~17:00 ※平日のみ
- 会場:国際紙パルプ商事株式会社本社 1階エントランス(東京都中央区明石町6-24)
- 展示内容:和紙のトンネル、オリジナル手漉き和紙タペストリー、国際紙パルプ商事100周年に向けた制作和紙

■和紙のトンネル

床面も含めて、すべて手漉き和紙でできているトンネルを設置しています。大きな漉き枠を用いて作り上げられた最大6×6mサイズの和紙は部分ごとに風合いが異なり、さまざまな表情が楽しめます。また、トンネル内ではロギール氏が漉いた土佐和紙を用いた照明作品が彩りを添えています。



■オリジナル手漉き和紙タペストリー

日本の伝統的な製法でつくられた「本和紙」をはじめ、ヨーロッパで用いられている「コットンペーパー」、日本とオランダの製法をミックスした独自の製法によって開発した「和蘭紙」など、ロギール氏のさまざまな手漉き紙作品をご紹介します。実際に触れて紙の手触りの心地よさを感じられるよう、サンプルもご用意しています。



■和紙制作プロジェクト

当社では、ロギール氏の協力のもと、1年ごとに本社ビル屋上庭園で収穫した楮・三稜を原料としたオリジナルの手漉き和紙を製作しています。2024年の創立100周年に向けたこのプロジェクトは今年で4年目を数えます。収穫年によって風合いの異なる和紙をぜひご覧ください。





～11/16(金)

EXHIBITION

## TSUNAGU GALLERY vol.8 ロギール・アウテンボーガルト作品展

TSUNAGU GALLERYにオランダ生まれの和紙作家・ロギール・アウテンボーガルト氏が登場。和紙でつくられた洞窟のような空間作品やオブジェ作品、当社屋上で栽培した原料を使った各種和紙の展示ほか、実際に手漉き和紙に触れる体験コーナーもご用意しています。見学ご希望の方は受付までお声がけください。



ロギール氏の独創的なオリジナル和紙作品を多数展示。

DATA

- 会場：国際紙パルプ商事本社1Fエントランス
- 料金：無料
- 問い合わせ：経営企画本部 IR・広報課
- TEL：03-3542-4169
- HP：www.kppc.co.jp

12/6(木)～8(土)

EXHIBITION

## エコプロ2018

環境・SDGs・ESG事業に携わるビジネスパーソンが一堂に集う展示会。20回目となる今年は「SDGs時代の環境と社会、そして未来へ」をテーマに、持続可能な社会実現につながる商品・技術・サービスの展示、セミナーなどが催されます。総合循環型企業をめざす当社も出展します。ご来場の際は、ぜひ当社ブースへお立ち寄りください。  
[東4ホール No.4-017]



画像は昨年の当社出展の様様。

DATA

- 会場：東京ビッグサイト 東ホール  
(東京都江東区有明3-11-1)
- 入場料：無料(ただし事前登録が必要)
- 問い合わせ：事務局
- TEL：03-6812-8686
- HP：eco-pro.com/2018

～10/21(日)

EXHIBITION

## 「染の型紙」

図案を切り抜いた型紙の上に糊を乗せて防染する、日本の伝統的な染色技法「型染め」。細やかで滑らかな曲線の表現を可能にした「型紙」の魅力を、宮城の染物屋に残された型紙を通して楽しむことができます。

DATA

- 会場：東北歴史博物館 テーマ展示 第2室  
(宮城県多賀城市高崎1-22-1)
- 入場料：一般：460円 小・中・高校生：無料
- 問い合わせ：東北歴史博物館
- TEL：022-368-0106
- HP：www.thm.pref.miyagi.jp

12/5(水)～7(金)

EXHIBITION

## 第9回 高機能フィルム展

電機、自動車、建材、医薬品、食品包装などさまざまな分野で活躍する機能性フィルムの最先端が集まる商談展示会。最新の機能性フィルムのほか、成形加工技術、部品・材料などに関する展示が一堂に会します。

DATA

- 会場：幕張メッセ  
(千葉県千葉市美浜区中瀬2-1)
- 入場料：無料(ただし招待券が必要)
- 問い合わせ：事務局
- TEL：03-3349-8568
- HP：www.filmtech.jp

※開館日、開館時間などは、各ホームページにてご確認ください。 ※イベント、展示は、諸事情により変更される場合があります。おでかけの際は、事前にホームページまたはお電話にてご確認ください。



輸送マイルージとCO2排出を抑え、地球温暖化に配慮したライスインキを使用しています。

エコ・プレス  
バインダー

針金・糊・熱が不要な製本方法を採用し、リサイクルや怪我の危険へ配慮しています。



国際紙パルプ商事株式会社  
KOKUSAI PULP&PAPER CO.,LTD.

発行：経営企画本部 経営企画部 IR・広報課  
〒104-0044 東京都中央区明石町6番24号  
TEL (03) 3542-4111 (代)

URL <http://www.kppc.co.jp/>